

## 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月9日

会社名 STEILAR C.K.M株式会社 (JASDAQ・コード番号：2673)  
 (URL <http://www.yumetai.co.jp>)  
 代表者 代表取締役  
 橋本 勝司  
 問い合わせ先 取締役総務部門担当  
 野口 正己 (Tel:(03)5326-8880)

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容)  
 (1) たな卸資産のたな卸高は、帳簿たな卸によって算定しております。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 (内容)  
 (1) 新規連結：3社 ライフステージ株式会社、株式会社ソシオ、匿名組合1組合

### 2. 平成19年3月期第3四半期業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (単位：百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	5,768 ( 0.3)	29 ( - )	52 ( - )	94 ( - )
18年3月期第3四半期	5,785 ( 4.5)	180 ( 164.2)	143 ( 56.7)	74 ( - )
(参考)18年3月期	7,560	206	164	121

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	20 63	- -
18年3月期第3四半期	16 20	16 01
(参考)18年3月期	26 37	26 05

(注) 19年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり純損失であるため、記載していません。

[ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期においては、当社グループは以下のように活動してまいりました。

#### 通販小売事業

##### イ．カタログ部門

カタログ部門では、5種類のDMを発行し付加価値の高い商品とサービスを展開しております。前連結会計年度より取り組んでいる各カタログの個性化に関しては、情報の深さをもたせる記事連動型の誌面作りを行い、独自性を高めました。さらに、データベースマーケティングを活用し、カタログごとの特性をより強化するために当第3四半期においては、質を高めるために欧米からの輸入商品を主軸とした新カタログ「L・E・A」を創刊しました。さらに、顧客セグメントを見直し、属性に合わせたカタログの送付を行うことで収益力の改善を図っております。また、制作物のコスト削減を行い、収益性が向上いたしました。

以上の結果、カタログ部門の売上高は25億77百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

##### ロ．事業部門（頒布部門）

趣味コレクター商品を扱う頒布事業では、男性用に加え女性用コースの充実も図りました。シリーズ物の収集を趣味とする顧客の囲い込みを継続しています。

健康事業と化粧品事業ではリピート消耗品を中心として取扱商品の幅を広げることに注力しました。さらに、既存のオリジナルアイテムの中で人気の高い商品については、より独自性の高い商品にするためリニューアルを進めております。また、定期購入顧客に対しては、継続購入率のアップを図っております。さらに、リピート品については新規顧客獲得を図ることで、売上の拡大につなげることに注力しております。

以上の結果、事業部門の売上高は8億96百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

##### ハ．メディア部門

他社が保有する特定会員への共同DM及びその会社が会員向けに発行する広報誌への広告出稿を積極的に進めることにより、業績の拡大に努めました。また、利益の拡大を狙い共同DMの発行回数及び部数の見直し並びに顧客属性を明確にし属性に応じたカタログ制作を行うことにより、販促費効率を改善しました。

新規媒体としては中高年をターゲットとした会員誌や雑誌への広告出稿を行い、新規顧客の獲得及び売上利益の拡大に努めました。さらに社内でもシステム化してきた通販業務を他企業に提供するプラットフォームビジネスを推進しました。

以上の結果、メディア部門の売上高は9億10百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

##### ニ．通信メディア部門

外部ショッピングモールサイトでは、これまで行ってきた広告の検証を進め、より積極的な広告活動を行ったことに伴い、広告用の新商品や販促企画を増加させ、新規顧客の獲得や顧客サービスを推進しました。また、モバイルサイトについても積極的にサイト更新を進め、広告活動を行い始めました。

自社サイト「夢隊WEB」では、第1四半期に予定していたサイトリニューアルが平成18年8月に遅れ、実績にも大きく影響しましたが、サイトリニューアル以降、「夢隊WEB」に掲載した「感性検索エンジン」の認知の向上への取り組み及び新規顧客誘導のための広告出稿、リスティング、アフィリエイト広告などを行いました。さらにSEO対策を行い、サイト来訪者数も順調に増加しております。

以上の結果、通信メディア部門の売上高は3億71百万円（前年同期比62.0%増）となりました。

##### ホ．その他部門

コールセンター業務を行っている株式会社ホット・コミュニケーションは、電話及びネット受注業務においてインターネット事業や健康・化粧品事業と連動し、顧客のリピート注文を増やすべく販売促進活動を積極的に行いました。また、受注時や問い合わせ対応時に顧客一人一人の要望を個別に応え、よりコミュニケーションを深めながら個別顧客対応が出来る「コンシェルジュ」サービスを開始しました。

株式会社夢隊ファクトリーでは当社グループ通信販売カタログの編集制作の支援事業を推進し、カタログ部門の企画特集ページ制作などを中心に活動しております。

グリストラップ浄化装置等の機械装置のレンタル事業においては、新規の設備の取得及びレンタルを行っております。

以上の結果、その他部門の売上高は1億34百万円（前年同期比47.5%増）となりました。

以上の結果、通販小売事業の当第3四半期の売上高は48億91百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

#### 不動産事業

株式会社クリスタルアースは、所有する賃貸用ビルの入居率を上げることで、安定した賃貸収入の確保に努めました。また、販売用不動産2物件の売却を行っております。

匿名組合1組合の所有する賃貸用オフィスビル1棟については、テナントの入居率が低迷いたしました。今後の改善に向けて取り組んでおります。

以上の結果、不動産事業の当第3四半期の売上高は7億64百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

#### その他事業

宝飾・服飾の自社ブランド事業及び岩盤美容事業では北青山に店舗を開き、新規顧客の集客力の強化を図ってまいりました。しかしながら集客が計画通りに推移せず、当連結会計年度末までに店舗販売事業を撤退し閉店することいたしました。また、宝飾事業では、シーズン限定モデルを独自商品として企画開発し、Web通販を中心に、積極的な販売戦略を行っております。

株式会社S・Rプロモーションは、アーティスト・タレントなどのマネージメント業務においてグッズ販売やアーティスト携帯サイトのオープンなど新たなビジネスを推進しました。さらに、コンサートイベント事業も集客が増加し、興行収益の拡大につながりました。また、アーティストのファンクラブの運営においては、新規会員の獲得強化が図られファンクラブ会費収入が増加しております。

また、デイサービス（通所介護）を行っているライフステージ有限公司（現 ライフステージ株式会社）の株式を取得し、子会社化いたしました。さらに当社グループ内での人材派遣を行うことを目的として株式会社ソシオを100%子会社として設立いたしました。

以上の結果、その他事業の当第3四半期の売上高は1億12百万円（前年同期比306.3%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期（連結）の売上高は57億68百万円（前年同期比0.3%減） 経常損失は52百万円（前年同期は経常利益1億43百万円）、第3四半期純損失94百万円（前年同期は第3四半期純利益74百万円）となりました。

#### (2) 財政状態（連結）の変動状況

（単位：百万円未満切捨て）

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	5,716	1,120	19.5	246 42
18年3月期第3四半期	5,537	1,267	22.9	275 92
(参考)18年3月期	5,057	1,305	25.8	286 07

#### [ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期末の財政状態につきましては、総資産57億16百万円（前連結会計年度末比6億58百万円増加）、負債の部合計45億96百万円（前連結会計年度末比8億49百万円増加）となり、純資産の部合計は11億20百万円となりました。

#### (参考) 四半期個別経営成績等の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）（単位：百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	4,890 ( 0.0 )	94 ( - )	41 ( - )	143 ( - )
18年3月期第3四半期	4,890 ( 1.2 )	117 ( 11.7 )	124 ( 0.0 )	81 ( 23.2 )
(参考)18年3月期	6,575	130	144	95

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	4,719	1,044	22.1	230 96
18年3月期第3四半期	4,700	1,279	27.2	278 62
(参考)18年3月期	4,427	1,285	29.0	281 64

3.平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	7,908	76	51

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 11円48銭

上記の予想には、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来に関する見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成18年11月17日に発表しております平成19年3月期の業績の見通しに変更はありません。

以 上

添付資料

- 1.(要約)第3四半期連結貸借対照表
- 2.(要約)第3四半期連結損益計算書

[添付資料]

1.(要約)第3四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

区分	前第3四半期末 (平成17年12月31日)		当第3四半期末 (平成18年12月31日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
(資産の部)						
流動資産						
1.現金及び預金	1,467		1,581		1,337	
2.受取手形及び 売掛金	817		821		784	
3.たな卸資産	537		857		1,361	
4.その他	293		422		259	
流動資産合計	3,116	56.3	3,682	64.4	3,742	74.0
固定資産						
1.有形固定資産	1,310		1,095		352	
2.無形固定資産	7		117		62	
3.投資その他の資産	1,102		821		900	
固定資産合計	2,421	43.7	2,034	35.6	1,315	26.0
資産合計	5,537	100.0	5,716	100.0	5,057	100.0
(負債の部)						
流動負債						
1.支払手形及び 買掛金	923		948		815	
2.短期借入金	524		599		555	
3.一年内償還社債	180		285		180	
4.その他	482		466		469	
流動負債合計	2,110	38.1	2,299	40.2	2,020	40.0
固定負債						
1.社債	540		502		480	
2.長期借入金	1,585		1,750		1,220	
3.その他	29		43		25	
固定負債合計	2,154	38.9	2,296	40.2	1,726	34.1
負債合計	4,265	77.0	4,596	80.4	3,746	74.1
(少数株主持分)						
少数株主持分	4	0.1	-	-	5	0.1

区分	前第3四半期末 (平成17年12月31日)		当第3四半期末 (平成18年12月31日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
(資本の部)						
資本金	368	6.7	-	-	368	7.3
資本剰余金	362	6.5	-	-	362	7.2
利益剰余金	696	12.6	-	-	741	14.7
その他有価証券評価 差額金	20	0.4	-	-	28	0.5
自己株式	180	3.3	-	-	194	3.9
資本合計	1,267	22.9	-	-	1,305	25.8
負債・少数株主持分 及び資本合計	5,537	100.0	-	-	5,057	100.0
(純資産の部)						
株主資本						
1 資本金	-	-	368	6.5	-	-
2 資本剰余金	-	-	362	6.3	-	-
3 利益剰余金	-	-	587	10.3	-	-
4 自己株式	-	-	206	3.6	-	-
株主資本合計	-	-	1,112	19.5	-	-
評価・換算差額等						
1 その他有価証券 評価差額金	-	-	2	0.0	-	-
2 繰延ヘッジ損益	-	-	0	0.0	-	-
評価・換算差額等 合計	-	-	2	0.0	-	-
少数株主持分	-	-	5	0.1	-	-
純資産合計	-	-	1,120	19.6	-	-
負債純資産合計	-	-	5,716	100.0	-	-

## 2.(要約)第3四半期連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

区分	前第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)				
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)			
売上高		5,785	100.0		5,768	100.0		7,560	100.0
売上原価		3,035	52.5		3,095	53.7		3,919	51.8
売上総利益		2,749	47.5		2,672	46.3		3,641	48.2
販売費及び一般管理費		2,569	44.4		2,701	46.8		3,435	45.5
営業利益又は 営業損失( )		180	3.1		29	0.5		206	2.7
営業外収益		28	0.5		36	0.6		39	0.5
営業外費用		65	1.1		60	1.0		80	1.0
経常利益又は 経常損失( )		143	2.5		52	0.9		164	2.2
特別利益		15	0.3		35	0.6		96	1.2
特別損失		9	0.2		76	1.3		23	0.3
税金等調整前四半 期(当期)純利益又は 四半期純損失 ( )		149	2.6		93	1.6		237	3.1
法人税、住民税及 び事業税	79			13			135		
法人税等調整額	3	75	1.3	13	0	0.0	18	116	1.5
少数株主利益又は 少数株主損失 ( )		0	0.0		0	0.0		0	0.0
四半期(当期)純 利益又は四半期純 損失( )		74	1.3		94	1.6		121	1.6